



2025 年 6 月 24 日

報道関係各位

食物アレルギーに挑む：母乳成分の役割と濃度変化を紐解く最新の知見

《第 24 回新生児栄養フォーラム》で発表

雪印ビースターク株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：渡辺 滋）は、雪印メグミルク株式会社と共同で 2015 年より第 3 回全国母乳調査を実施しています。

今回、母乳成分と食物アレルギーに関するこれまでの母乳研究の成果を、2025 年 6 月 21 日から開催された、第 24 回新生児栄養フォーラムで学術発表いたしました。

今後も、収集した母乳の成分と母親の生活習慣や児の成長・発達との関係を調べてまいります。

◆研究発表の概要

近年、食物アレルギー罹患者は増加傾向にあります。食物アレルギーを発症するタイミングは、3 歳までの患者の半数以上が生後 12 か月以内に診断されることが報告されており、授乳期における唯一の栄養源である母乳と児の食物アレルギー発症との関連が注目されています。しかしながら、多くの研究が報告されているものの、母乳栄養が果たす役割について明確な結論は出ていません。一方、母乳中の成分に焦点を当てた研究も数多くなされており、食物アレルギーに対して抑制的に作用することが示唆される成分も報告されています。

本発表では、雪印ビースタークが 70 年以上にわたり取り組んできた母乳研究の知見を踏まえ、食物アレルギー発症抑制との関連が示唆されている母乳成分の研究成果を取りまとめて発表しました。

最新の母乳研究の知見紹介

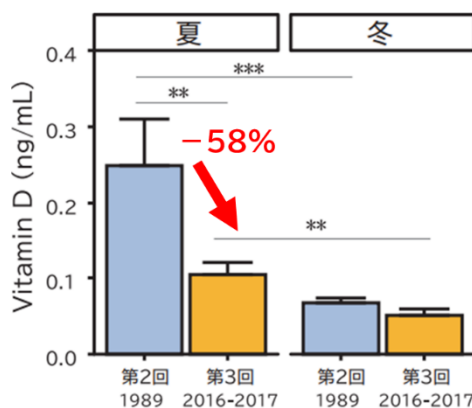
プロバイオティクス摂取による
母乳中 TGF- β への影響

母乳中ビタミン D の時代変化
過去(1989 年) vs 現代(2016-2017 年)

DHA 含有サプリメントが
母乳中 DHA に与える影響

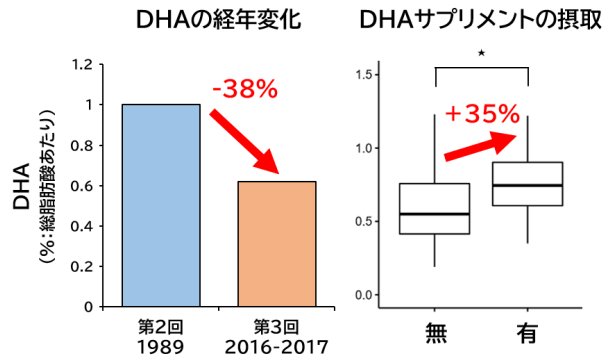
母乳に含まれる食物アレルギーとの
関連が報告されている成分

	リスク低下
サイトカイン	TGF- β IL-10 IFN- γ sCD14
抗体	IgA IgG
一般栄養成分	ビタミン A ビタミン D n-3 系多価不飽和脂肪酸 HMOs

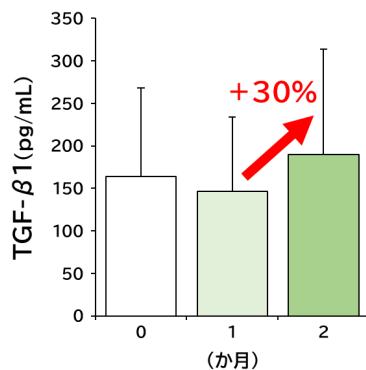
2025 年 総説 (Wu et al., *Immunology*) より作図

・ビタミン D の経年変化

胎児期や乳児期のビタミン D 充足度が、食物アレルギーの発症と関連することが報告されています。ビタミン D は日光を浴びると体内で合成されますが、日焼けを忌避する現代では母乳中のビタミン D 濃度が低下している可能性があります。30 年前の母乳と現代の母乳を比較したところ、現代では母乳中のビタミン D 濃度が低下していることが判明しました。特に季節や日照時間が母乳中のビタミン D 濃度に強く影響することがわかりました。

**・DHA とサプリメントの摂取**

DHA は免疫バランスを整えて、食物アレルギーを抑えると考えられています。DHA は魚に豊富に含まれますが、日本人の魚介類摂取量は年々減少しており、特に若年層ほど顕著です。30 年前と比較すると、現代の母乳では DHA 濃度が低値であると考えられました。一方、DHA サプリメントを日常的に摂取している授乳婦では母乳中 DHA 濃度が増加することがわかりました。

3種類の乳酸菌の摂取期間**・3 種類の乳酸菌(プロバイオティクス)の摂取と TGF- β**

TGF- β は免疫成分の一つで、過剰な免疫反応を抑えることで、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎等のアレルギーを抑えると考えられています。母乳中の TGF- β 濃度は、乳酸菌などのプロバイオティクスの摂取で変動することが報告されています。そこで、授乳婦を対象に、3 種類の乳酸菌(プロバイオティクス)を摂取する試験をしたところ、2 か月間の摂取で母乳中の TGF- β 濃度が増加することがわかりました。

■今後の取り組み

当社は、母乳栄養を中心とした乳幼児の栄養学において、食物アレルギーの予防や発症リスク低減をめざす研究をさらに推進します。全国の医療機関や研究機関と連携し、母乳中の各種免疫成分や栄養素、さらには母子の生活環境まで含めた包括的な調査を継続中です。それらの成果を、粉ミルクやママ向けサプリメントなどの製品開発に活かし、赤ちゃん和妈妈が安心して過ごせる未来を支えてまいります。

◆発表概要

演題名 母乳成分と食物アレルギーとの関連

発表者 安枝武彦

雪印ビーンスターク(株)商品開発部

発表日 2025 年 6 月 21 日(土)、22 日(日)

会場 浅草橋ヒューリックホール(東京都台東区浅草橋)



【関連リリース】

- ・母乳中ポリアミンと児のアレルギースリスク低下の関連 第 79 回日本栄養・食糧学会で発表
(2025 年 5 月 27 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/7783/>)
- ・母親の食事や DHA サプリメント摂取と母乳中の脂肪酸組成との関係についての研究結果が論文掲載されました
(2020 年 9 月 24 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/6169/>)
- ・第3回全国母乳調査 1210 組のお母さんと赤ちゃんにご協力いただいた研究概要が論文掲載されました
(2020 年 6 月 11 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/5893/>)
- ・日本人の母乳中ビタミン D 濃度の年代による変化を調査
(2019 年 10 月 15 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/5631/>)
- ・第3回全国母乳調査「オステオボンチン」の乳児栄養における役割について
(2019 年 6 月 24 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/5500/>)
- ・第3回全国母乳調査 現代日本人母乳の主要栄養素濃度と母親の摂取栄養素量について
(2019 年 6 月 17 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/5497/>)
- ・免疫に働きかける「母乳中オステオボンチン」国際共同研究で濃度変化解明
(2018 年 5 月 21 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/4888/>)
- ・最近の日本人の母乳中ビタミン D 濃度について調査
(2017 年 5 月 23 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/4429/>)
- ・全国規模の母乳調査開始
(2015 年 7 月 24 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/873/>)

【雪印ビーンスターク 第 3 回全国母乳調査につきて】

母親の生活習慣と母乳成分が乳児に与える影響に関する研究のために実施しております。

- ① 目 的: 母乳成分と母子の背景情報の相互関係を把握する
- ② 対 象: 母乳哺育している母親 1,210 名
- ③ 方 法: 母親から母乳を提供いただくとともに、食事や生活習慣のアンケート、乳児の発育や疾病状況のアンケートを実施
- ④ 実施期間: 2014 年～2024 年(追跡調査を行うため長期実施となります)
※第 1 回(1960 年実施)と第 2 回(1989 年実施)の母乳調査につきては当社ホームページをご覧ください。<https://www.beanstalksnow.co.jp/labo/milk/>

【母乳の情報を提供する web サイト「母乳ラボ」につきて】

雪印ビーンスタークが 70 年以上にわたり取り組んでいる、母乳研究についてわかりやすく紹介するとともに、母乳成分と赤ちゃんの発育・健康に関する情報や母乳にまつわる話題や豆知識をご提供しています。

URL : <https://bonyuukenkyyu.com/>

【企業情報】

雪印メグミルクグループ 雪印ビーンスターク株式会社 (Bean Stalk Snow Co.,Ltd.)

設 立 : 2002 年 8 月 7 日

代表者 : 代表取締役社長 渡辺 滋

URL : <https://www.beanstalksnow.co.jp>